

NPO 法人日本医療福祉事業団 精神科医療福祉研修会(第1回)

日時▶6月30日(土)10:00~15:00 受付9:30~
会場▶福岡県立大学大講義室(福岡県田川市)
内容▶「精神科訪問看護を理解する—基礎編」村尾眞治
 /「精神科訪問看護を深める—実践編」小瀬古伸幸
定員▶先着100名
会費▶3000円
申込方法▶施設名、電話番号、FAX番号、メールアドレス、申請者、参加者氏名(ふりがな)を記入し、FAXで送信
申込・問い合わせ先▶シルバーマディカル 担当: 安陪
☎0947-42-5753
FAX0947-42-5783

ピアサポ祭り2018

日時▶7月8日(日)
会場▶世田谷区民会館(東京都世田谷区)
内容▶自助・ピアサポートグループの仲間の体験談/パフォーマンス&アピールタイム/講演1 小島慶子、2 津田篤太郎/シンポジウム 上岡陽江、信田さよ子ほか/Q & A /会場全体分かち合い
参加費▶前売2000円、当日2500円(資料代含む)
 ※詳細はホームページ(<http://naba1987.web.fc2.com/event/180708pia.html>)参照
問い合わせ先▶NABA(ナバ)日本アノレキシア(拒食症)・プリミア(過食症)協会
 〒156-0057 東京都世田谷区上北沢4-19-12 シャンポール上北沢212
☎03-3302-0710

第38回全国デイ・ケア研究大会2018 inつくば

日時▶7月13日(金)~14日(土)
会場▶つくば国際会議場(茨城県つくば市)
内容▶大会長講演「通所サービスの役割の歴史とこれから—リノベーション(仮)」伊佐地隆/特別講演「30年同時改定でデイ・ケアに何を望むのか(仮)」/シンポジウム「徹底討論 デイ・ケアで何ができるのか(仮)」/パネルディスカッション「介護から変えるデイ・ケア(仮)」/特別対談「デイ・ケアにもの申す(仮)」/研修講演「通所サービスでの嚥下障害への対応(仮)」/講演「地域包括ケアシステムの中でのデイ・ケア(仮)」/実践セミナー「デイ・ケア運営の方向性(仮)」、II「ここが売り!! うちのデイ・ケア(仮)」、リハビリテーションスポーツセミナー/ほか
参加費▶(大会)事前登録: 会員1万1000円、非会員1万3000円、当日登録: 会員1万3000円、非会員1万5000円
事前登録締切▶5月31日(木)23:59まで
問い合わせ先▶JTB関東法人営業茨城南支店内 運営事務局

☎029-860-2872(平日9:30~17:30)
FAX029-854-1664
 E-mail: mice-tsukuba@kanto.jtb.jp
 または大会ホームページ(<https://38daycare-tsukuba.com/>)の問い合わせフォームより

日本外来精神医療学会(第18回)

日時▶7月14日(土)~15日(日)
会場▶市川市文化会館(千葉県市川市)
内容▶基調講演: 大西守/教育講演「労働衛生・労災事例関連」黒木宣夫、「ストレスチェック・一次二次予防関連」渡辺洋一郎、「医療と職域の連携・安定就労関連」神山昭男、「在邦外国人・多文化メンタルヘルス関連」阿部裕/メインシンポジウムI「くらし・仕事・メンタルヘルスと精神医療」小山文彦 他、II「職場復帰・両立支援」五十嵐良雄他/シンポジウム「職場における発達障害への対応」桂川修一、志津雄一郎、「産業現場で見逃さないアルコール関連問題」森崎美奈子、松井知子、「産業カウンセリングの現場から」古山善一、石見忠士/パネルディスカッション「ストレスチェックの現状と課題」高野知樹/「LGBTと職場対応」「メンタルヘルスと介護負担」「産業カウンセラーの過去と未来を語る」「社会保険労務士活動とメンタルヘルス」/ほか
問い合わせ先▶ケイ・コンベンション内 運営事務局
 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-27-2 山本ビル2階
☎03-5367-2382
FAX03-5367-2187
 E-mail: 18jaaps@k-con.co.jp
<https://k-con.co.jp/18jaaps/program.html>

第49回(平成30年度) 日本看護学会—精神看護

日時▶7月19日(木)~20日(金)
会場▶あわぎんホール(徳島県徳島市)
内容▶基調講演「あらゆる場におけるライフサイクルとメンタルヘルスケア」福井トシ子/教育講演「心も体も抑制しない看護へのチャレンジ—患者に寄り添い愛のあるケアを考える」小藤幹恵/シンポジウムI「精神看護に対する心の壁を乗り越える」藤田裕美、千葉進一、小松龍、藤代知美/II「地域で暮らすということ—みんなで支え合うために」柳尚孝、松下和子、大西和子、前山憲一、緒方静子/交流集会「認知症患者へのチームアプローチの成果と展望」浅見千代美、粟田主一、溝口愛子/緊急レポート「認定看護師制度のさらなる発展にむけて—新たな認定看護師制度」福井トシ子
参加費▶事前登録(税込): 会員8208円、非会員1万2312円、学生4104円、当日登録(税込): 会員1万2320円、非会員1万6420円、学生5190円
事前参加受付▶6月7日(木)まで
定員▶900人
問い合わせ先▶日本看護協会看護研修学校 教育研究

部学会企画課

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

☎042-492-9120(平日10:00~16:00)

FAX 042-492-9048

E-mail: jnagakkai@nurse.or.jp

行動制限最小化研究会(第25回)

日時▶7月20日(金)

会場▶沖縄船員会館(沖縄県那覇市)

内容▶行動制限最小化基礎講座 木下孝一/最小化実践報告「高齢者の身体介助の取り組み」貝田博之/「行動制限の現状と課題」須田幸治/「行動制限最小化看護技術(カンフォータブル・ケア)」渡邊貴史

参加費▶4000円(当日支払)

定員▶60名

申込方法▶所属・氏名・電話番号・FAX・E-mailアドレス(PDF添付が可能なもの)を記載し、下記メールアドレスへ送信

申込締切▶6月30日(土)

問い合わせ先▶事務局担当 キシタ

☎090-6585-6338

E-mail: info.jsrf@gmail.com

日本うつ病学会(第15回)

日時▶7月27日(金)~28日(土)

会場▶京王プラザホテル(東京都新宿区)

内容▶会長講演「うつ病におけるパーソナリティとストレスの相互作用」井上猛/教育講演1「気分障害研究の最前線」、2「うつ病を言葉と薬物と身体で治す—その相互作用から」、3「子どもの心の発達と気分障害」、4「あなたにもできる外国人へのこころの支援」、5「うつ病への経頭蓋磁気刺激療法」、6「脳科学に基づくうつ病の診断・治療法の開発研究の現状と今後の展望」、7「うつ病と認知症の関係」、8「ニッポンの「うつ病」(1959-1978)」、9「うつ病の森田療法」、10「こころアプリ:うつ病に対するスマートフォン認知行動療法の臨床試験結果から」、11「不安・抑うつ発作(仮)」、12「気分障害の精神病理」、13「小児うつ病リスクの脳画像研究」、14「うつ病のリハビリ—達成のために CBT、リワークは何か出来るのか?—デイケアを用いた治療構造について」/シンポジウム1「多様化するうつ病治療—適応、利点、問題点、実現可能性」渡邊 衡一郎、2「気分障害の心理教育の実際と展開」市来真彦、3「うつや自殺予防に役立つ、日常生活の工夫:水と魚と光」寺尾岳、4「うつ症状を伴う発達障害者の支援」市来真彦、5「特定の病態における双極性障害の薬物療法 up-to-date」白川治/多職種連携委員会企画シンポジウム「がん患者に対するメンタルサポート」向笠 章子/自殺予防研修会 エッセンシャルズ研修会「複雑事例の読み解き方と支援の構築」河西千秋/第12回うつ病診療講習会「うつ病の寛解から完治・社会復帰へ向けて—職場のケース」川崎弘昭/双極性障害委員会企画シンポジウム「安全で効果的な双極性障害の薬物療法 update」大森哲郎/倫理委員会講習会:

秋山剛/ほか

参加費▶医師:会員8000円、臨時会員1万円、コメディカル・学生:会員5000円、臨時会員7000円、懇親会5000円

※プログラム・抄録集は、会員は事前郵送、臨時会員は参加費に含む

問い合わせ先▶コンベンションリンケージ内 事務局
〒102-0075 東京都千代田区三番町2

☎03-3263-8688

FAX 03-3263-8693

E-mail: jsmd15@c-linkage.co.jp

http://www.c-linkage.co.jp/jsmd15/index.html

日本ストレスマネジメント学会(第17回)大会 in 姫路

日時▶7月28日(土)~29日(日)

会場▶イーグレひめじ・姫路市民会館(兵庫県姫路市)

内容▶大会長講演「ストレスマネジメント教育の推進者育成と教師のメンタルヘルス」藤原忠雄/記念講演「学校教育におけるストレスマネジメント教育の展開」富永良喜/シンポジウム「ストレスマネジメント教育の今後を展望する—包括的ストレスマネジメント教育へのシフト」井澤信三、近藤卓、竹中晃二、藤原忠雄/研修会1「心の教育としてのストレスマネジメント教育」一瀬英史、吉永弥生、倉田知子/2「被災地支援におけるストレスマネジメント教育」富永良喜、永浦 拓/3「認知行動療法を中核としたストレスマネジメント教育」嶋田洋徳/4「リラクセーションを中核としたストレスマネジメント教育」土居隆子、藤原忠雄

事前申込締切▶6月30日(土)、振込締切は7月10日(火)

問い合わせ先▶大会ホームページ(https://stmane.web.fc2.com/index.html)の問い合わせフォーム、メールより

SST全国経験ワークショップ in 東京(第24回)

日時▶7月28日(土)~29日(日)

会場▶帝京平成大学池袋キャンパス本館(東京都豊島区)

内容▶会長講演「e-SSTをめざして」丹羽真一/名誉会長講演「『我と汝』とSST」西園昌久/シンポジウム「SSTは進化する—エンパワード SSTの実際」福田正人、向谷地生良、池淵恵美、丹羽真一/市民公開講座「人生を生ききる」互井観章/ランチョンセミナー1「新しい時代の認知行動療法」熊野宏昭、II「統合失調症におけるリカバリー—ゴールの意義: illness management and recovery (IMR) とエンパワメント」平安良雄/分科会「認定講師スキルアップセミナー」「グループの力を活かすSSTを工夫しましょう」「明日から活かせるSSTアセスメントと行動分析—個人でもグループでも役立つエッセンス」「マインドフルネスに触れる—現代のストレスマネジメント」「子どもの支援のためのSST」「効果的な就労支援・定着をめ

ずすSST」「オープングダイアログから学ぶ一対話の可能性を再考する」ほか

参加費▶(事前登録)会員6000円、非会員7000円、(当日登録)会員7000円、非会員8000円、ほか
※当事者は1000円、家族・学生は3000円、市民公開講座のみ参加は無料。

申込方法▶ホームページ(<http://24th-workshop.jasstjet/>)より参加申込書をダウンロードし、メール、郵送、FAXで申し込む。

問い合わせ先▶トリョウビビジネスサービス内 運営事務局

E-mail : 24workshop@jasst.net

FAX 03-3547-9684

日本訪問看護財団 精神障がい者の在宅看護セミナー (3日間研修)

日時▶8月31日(金)～9月2日(日)

会場▶松山市男女共同参画推進センターコムズ、愛媛県医師会館 4F(愛媛県松山市)

内容▶精神保健福祉の現状と動向／精神科訪問看護の動向と報酬・制度活用／精神障がい者を介護する家族支援について／精神障がい者及び家族を地域で支えるための社会資源と制度の活用／精神疾患と治療について／精神科訪問看護の基礎／日常生活の援助／精神障がい者及び介護者家族への医療継続支援について／精神障がい者及び介護者家族への対人関係の援助／精神科訪問看護の実例

講師▶柿澤満絵、萱間真美、谷向知、林紀江、鈴木孝典、富川順子、佐藤美穂子

対象▶保健師、看護師、准看護師、作業療法士

受講料▶会員2万円、非会員4万円

※精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす研修。3日間全講義受講者には修了証を発行

申込方法▶ホームページ(<http://www.jvnf.or.jp/kyouiku/kensyu.html>)内申込フォームより

問い合わせ先▶日本訪問看護財団研修担当

☎03-5778-7005

E-mail : info-kensyu@jvnf.or.jp

第5回日中韓看護学会

テーマ▶看護における新たな価値の創造

日時▶9月16日(日)～18日(火)

※16日は学会バッグ受け渡しのみ。参加には事前登録が必須。当日の登録手続きはない。

会場▶国連大学本部(東京都渋谷区)

内容▶基調講演／日中韓3か国の看護協会会長講演／日中韓専門家によるテーマ別スペシャル・セッション(看護教育、看護管理とリーダーシップ、看護業務支援、高齢者ケア)／一般演題(口演・ポスター)／懇親会、施設見学(希望者のみ)

参加費▶4万円(学会参加費、英文抄録集、懇親会、施設見学を含む)

※ただし、懇親会(7000円)と施設見学(1000円)は参加者のみ

一般演題抄録募集▶本会公式ウェブサイト参照

<http://www.nurse.or.jp/nursing/international/exchange/index.html>

問い合わせ先▶日本看護協会 国際部

Email : kokusai@nurse.or.jp